



あつまる つながる まとまる 大いなる田園のまち あつま

広報あつま

ATSUMA TOWN PUBLIC RELATIONS

2025

2

NO.870





第3回 厚真町二十歳のつどい

晴天に恵まれた1月12日、町教育委員会が主催する「第3回二十歳のつどい」が総合福祉センター大集会所で開かれ、対象30人のうち25人が出席して門出を祝いました。

式典では、参加者の名前が一人ずつ紹介され保護者たちに深々と一礼。遠藤教育長の式辞に続いて宮坂町長と渡部議長が「柔軟性や共感力を高め、未来に広がる可能性を切り拓いて欲しい」とエールを送りました。

また、出席者を代表して、岩間堅士さん(上厚真)が誓いの言葉を述べ、池田葵さん(厚和)が交通安全を宣言。大澤光洋さん(京町)が、厚真の木で作られた時計の記念品を町長から受け取りました。さらに、二十歳の主張で登壇した尾谷優太さん(本郷)は、中学2年で遭遇した胆振東部地震や新型コロナウイルス感染症などに触れながら「自覚と責任を持って仲間と共に成長し、人から信頼される大人になります」と力強く決意を述べました。

引き続き会場では、二十歳のつどい実行委員会によるアトラクションが行われ、厚真に関するクイズや恩師のビデオレターなどを鑑賞し、20年の歩みを振り返りました。



誓いの言葉



交通安全宣言



二十歳の主張



記念品の贈呈

金びょうぶの前で
記念撮影する参加者の皆さん



感謝の気持ちを込めてカーネーションを贈る参加者



厚真ゆかりの「〇×クイズ」(上)や思い出写真などの映像(下)で盛り上がったアトラクション



// ひとのうごき //

人 □ 4,218人 (-9)
男 2,142人 女 2,076人

世帯数 2,100世帯 (-1)

1月31日現在 ()内は前月比

広報あつま

ATSUMA TOWN PUBLIC RELATIONS

2025

2

NO.870

- 2 ひとのうごき
- 3 第3回厚真町二十歳のつどい
- 4-5 「ゼロカーボンシティあつま」の実現を目指しています
- 6-7 令和5年度決算
- 8-10 町からのお知らせ
- 11 第18回あつま国際雪上3本引き大会
- 12-13 まちの話題
- 14 厚高インフォ／よりみち通信
- 15 地域おこし協力隊／将来の夢
- 16-17 保健の掲示板
- 18 健康情報
- 19 子育て支援センター
栄養教室
まちのアイドル
- 20 令和6年第4回定例会
- 21 気象台ノート
住宅用火災警報器を設置しましょう
- 22 防災のページ
- 23 情報ひろば
- 24 ATSUMA LOVERS

12月16日～1月31日届出分

※窓口などで、広報紙への掲載について確認できた方を掲載しています。

// 厚真町公式SNS //



お知らせや最新情報を発信しています！

// 広報あつまはインターネットでも！ //



厚真町ホームページ

トップページ下部のバナーから

広報あつま

Hokkaido ebooks

エリアで探す→胆振→厚真町



COVER

今月の表紙



スケートシーズンが到来しました。整氷された町民スケートリンクでは、子どもたちの歓声が響いています。大会出場を目指して黙々とラップを刻む中学生、慣れないスケート靴に苦戦しながら“氷と格闘”する児童などさまざまな光景が広がっていました。



「ゼロカーボンシティあつま」 の実現を目指しています

Zero Carbon City ATSUMA



災害への備え

平成30年北海道胆振東部地震の際、史上初めてとなる全道域での大規模停電（ブラックアウト）が発生し、生活や交通、通信、産業など広範囲にわたり混乱が生じました。

町はこの教訓を活かし、「エネルギーの地産地消事業」を実施、中核的な公共施設に再生可能エネルギーを導入することにより、エネルギー自給・地域循環、災害時の防災力強化に取り組んでいます。

本事業では、令和元年度から令和4年度の期間で5力所

総合ケアセンター発電施設



総合ケアセンターゆくり

給食センター発電施設



給食センター

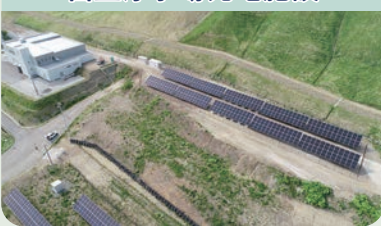
スポーツセンター発電施設



スポーツセンター

富里浄水場

富里浄水場発電施設



こぶしの湯あつま

本郷第2発電施設



エネルギー
マネジメント
システム
運用状況の把握
電力使用の最適化

日本は、2020年以降の気候変動対策の枠組みとして採択されたパリ協定を契機に、2050年カーボンニュートラルの実現、2030年温室効果ガス排出量の46%削減を政策目標としています。

厚真町は、2022年4月6日に「ゼロカーボンシティあつま」を宣言し、吸収源ともなる自然環境の保全や生活・産業の省エネルギー化、新エネルギーや新技術の活用による災害対策の強化など、厚真らしい持続可能な地域づくりと気候変動への対策を合わせた取り組みを計画的に進めています。

ゼッチ
ZEH
(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)

ゼブ
ZEB
(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)



国が定める断熱性能等を満たした上で、使用するエネルギー量に対して、省エネ化により削減するエネルギー量と、太陽光発電等で創られるエネルギー量を合わせたものが同量または上回ること、年間のエネルギー使用量が実質ゼロとなる住宅をZEH、業務用建物をZEBといいます。

住まいのゼロカーボン化推進補助金

ZEH水準の新築住宅の建築または購入、既存住宅の改修に対する補助を行い、各家庭の省エネ化、ゼロカーボン化を推進します。

新築住宅

最大150万円の補助
※令和6年度の受付は終了しました。
※令和7年度も継続する予定ですが詳細は未定です。

既存住宅

断熱改修、給湯・冷暖房・照明等の設備導入、太陽光発電・蓄電池設備など豊富なメニュー

詳しくはこちら



町ホームページ



再生可能エネルギーを 活用したまちづくり

カーボンニュートラル実現のため、町では令和4年度に温室効果ガス排出量や導入可能な再生可能エネルギーの種類やポテンシャル量を調査し、その結果を基に再生可能エネルギーを活用したまちづくりに関する取り組みを「厚真町ゼロカーボン・ビレッジ構築計画」としてまとめました。この計画に沿って先行して次の事業を進めています。



宮の森こども園に設置したEV双方向充放電器

上厚真ゼロカーボン・ビレッジ整備事業

厚真らしい風景や自然環境と調和しながら、再生可能エネルギーやデジタル技術を用いて環境負荷の小さい住環境や持続可能な生活利便施設の構築、安心・安全に配慮した町並みの形成を進めることで、移住定住促進や子育て環境の充実のほか、交流人口やにぎわいの創出など持続可能で環境共生型のまちづくりを目指します。

環境共生型新規分譲宅地開発

環境負荷の小さい住環境の実現と移住定住促進のため、上厚真北部に新規分譲宅地の開発を行う予定です。最終的な区画数は80区画以上を予定し、住宅の建設についてガイドライン等を設けることで、ZEH等の次世代省エネ住宅の建設促進を図る先駆的な分譲宅地とする計画です。

現在、計画の皮切りとして、街区東側に子育て支援住宅を建設中です。住宅性能をZEH水準とし、入居者に快適な住空間を提供することで、町内における子育て世帯の増加と脱炭素化促進の両立を実現します。



特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合、保険料や使用料などの特定の収入をもってその支出に充てるために、一般会計と別の会計になっています。令和5年度は、6つの特別会計となります。

特別会計名	歳入	歳出	差し引き
国民健康保険	5億9,043万円	5億8,692万円	351万円
後期高齢者医療	9,570万円	9,151万円	419万円
介護保険	6億2,429万円	5億8,627万円	3,802万円
介護サービス	4,439万円	4,439万円	0万円
簡易水道	7億5,714万円	7億3,445万円	2,269万円
公共下水道	2億7,243万円	2億4,048万円	3,195万円
合 計	23億8,440万円	22億8,405万円	1億35万円

健全化判断比率と資金不足比率の公表

自治体の財政破たんを未然に防ぐとともに、悪化した団体に対して早期に健全化を促すことを目的とした「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」（財政健全化法）により、地方公共団体は毎年度、財政に関する指標である「健全化判断比率」と「資金不足比率」を算定し、監査委員の審査を受けた上で議会に報告するとともに、地域住民に公表することが義務付けられています。

健全化判断比率

健全化判断比率とは、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するための指標であり、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4つの財政指標の総称です。「－」は、実質赤字額・連結赤字額がない（黒字である）ことを示しています。

区 分	厚真町	早期健全化基準	財政再生基準	説 明
① 実 質 赤 字 比 率	—	15.0	20.0	普通会計の赤字からみる財政運営の深刻度
② 連結実質赤字比率	—	20.0	30.0	全ての会計の赤字からみる財政運営の深刻度
③ 実質公債費比率	13.4	25.0	35.0	借金の返済額等の大きさからみる資金繰りの危険度
④ 将 来 負 担 比 率	—	350.0		町が抱える負債の残高からみる将来財政への圧迫度

〔基準について〕

①～④が早期健全化基準以上の場合には、財政健全化計画を定めなければなりません。

①～③が財政再生基準以上の場合には、財政再生計画を定めなければなりません。

資金不足比率

資金不足比率とは、公営企業の資金の不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模との比較を指標化したもので、経営状況の深刻度を示すものです。「－」は、資金不足額がない（黒字である）ことを示しています。

区 分	厚真町	経営健全化基準
簡易水道事業特別会計	—	20.0%
公共下水道事業特別会計	—	20.0%

〔基準について〕

資金不足比率が経営健全化基準以上の場合には、経営健全化計画を定めなければなりません。

令和5年度 決算

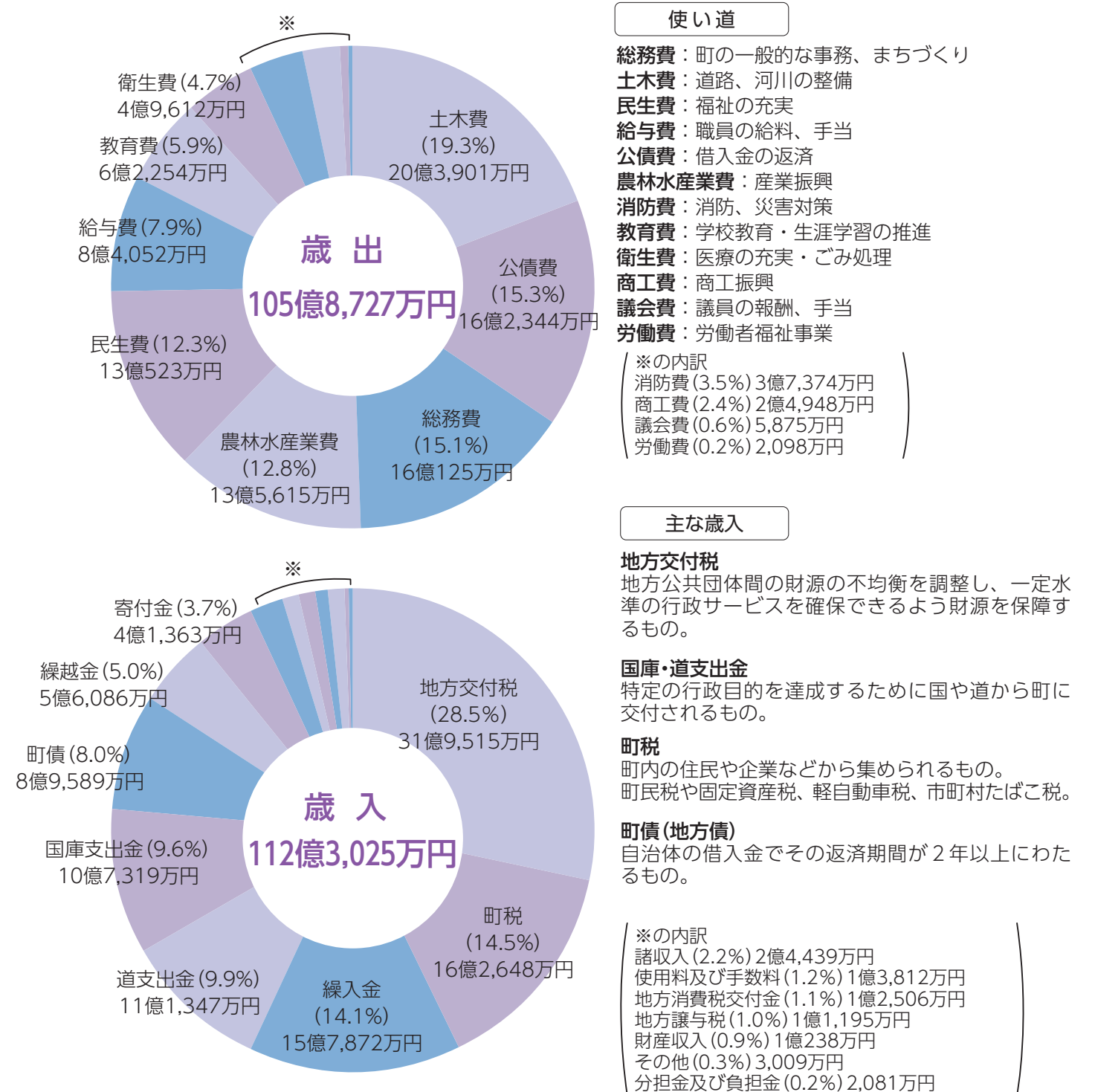
令和5年度における町の一般会計と特別会計の決算が、昨年12月に開かれた令和6年町議会第4回定例会で認定されました。皆さんに納めていただいた税金や、国や北海道などから町に入ったお金が1年間どのように使われているかをお知らせします。※各項目の合計と総額の相違は、1万円未満の端数処理によるものです。

問い合わせ 総務課 財政グループ ☎27-2481



一般会計

一般会計は、市町村の財政の基本を示す家計簿といえるもので、税金などの収入を示す「歳入」と、その使い道を示す「歳出」の2つから成り立っています。



児童手当の申請を忘れずに

住民課 子育て支援グループ ☎ 26-7872
(総合ケアセンターゆくり内)

認定請求書等の提出をお願いします。

認定請求書

昨年10月の児童手当制度の改正に伴い、新たに支給対象になる方は、3月31日(月)までに「認定請求書」を提出してください。
※提出期限後は、提出の翌月から支給対象となりますのでご注意ください。
※支給は偶数月です。
※未提出の世帯に個別に通知を送付しています。
※制度改正に伴い、支払通知書は廃止となるため、通帳記帳等で入金をご確認ください。

監護相当・生計費の負担についての確認書

3人以上のきょうだいがいる世帯で、大学生年代のお子さんが4月以降も進学等により保護者の生計費負担が見込まれる場合、「監護相当・生計費の負担についての確認書」の提出が必要です。
現在、高校3年生年代のお子さんは3月末で児童手当の支給対象外となりますが、書類の提出によって子どもの加算人数にカウントされ、児童手当の額が維持されます。
手続きの詳細は、住民課子育て支援グループまでお問い合わせください。

高齢者等の冬の生活支援

住民課 福祉グループ ☎ 26-7872
(総合ケアセンターゆくり内)

町では、高齢者等の冬期間家庭用暖房費の一部を支援しています。

交付対象世帯

- ①高齢者世帯
令和7年3月31日時点で65歳以上の高齢者のみで構成する高齢者世帯、または65歳以上の高齢者と満18歳未満の方のみで構成する世帯で、令和5年分の年金収入額と世帯のその他の合計所得金額の合計額が次に掲げる額以下の世帯
ア.単身世帯：120万円以下
イ.2人以上の世帯：160万円以下
- ②ひとり親世帯
義務教育終了前の児童・生徒がいる世帯で、令和5年分の合計所得金額が240万円以下の世帯
- ③障がい者がいる世帯
世帯に障害者年金を受給している方がいて、令和5年分の年金収入額と世帯のその他の合計所得金額の合計額が240万円以下の世帯
- ④上記①、②、③の世帯が同一家屋に世帯分離をして居住している場合であって、各世帯の合算した合計所得金額が240万円以下の複数世帯
- ⑤その他、町長が特に必要と認めた世帯
※ただし、次の世帯は対象となりません。
・生活保護世帯 ・施設入居世帯
・税法上の扶養控除を受けている世帯
・医療保険の被用者保険の被扶養者となっている世帯
・同一家庭に居住し世帯分離をしている世帯(④を除く)

支援金の額および支給方法

1世帯当たり1万3千円を現金(口座振込)で支給

申請受付期間

3月17日(月)まで

申請方法・場所

全戸配布した申請書(チラシ)と印鑑を持参のうえ、下記の場所で申請してください。

申請窓口

住民課福祉グループまたは上厚真支所

※体が不自由で交通手段が確保できないなどの理由で申請が困難な場合は、申請書をお住まいの担当地区の民生委員に提出するか、住民課福祉グループ(〒059-1692 京町120番地)に郵送してください。

水資源保全区域内の土地取引行為について

産業経済課 林業・森林再生推進グループ ☎ 27-2419

水資源保全区域内の土地取引行為には事前の届け出が必要です。

豊かな水資源の恵みを次世代が享受できるよう、北海道は全国に先駆けて「北海道水資源の保全に関する条例」を制定しています。

条例に基づき指定された水資源保全地域で土地取引を行う場合は、契約締結の3カ月前までに町産業経済課林業・森林再生推進グループに届け出てください。

水資源指定地域は
胆振総合振興局や
北海道のホームページで
確認できます。



※LINE申請可能

町公式LINEのトーク画面「各種申請」から申請してください。
(ポイントの交付まで2週間程度かかります)



友だち追加

高校生の通学費等助成

住民課 子育て支援グループ ☎ 26-7872
(総合ケアセンターゆくり内)

町外の高校に通学する生徒の保護者に通学費などの一部を助成します。

対 象

町外の高校(高等専門学校は1～3年生)へ通学または下宿などをしている生徒の保護者
※町内在住の保護者に限る

助成内容

月額5,000円×5カ月分
(あつまるポイントで還元)

対象期間

令和6年10月～令和7年3月
(長期休暇1カ月分を除く5カ月分)

必要書類

- ・対象期間の在学証明書(発行日から2カ月以内)または在籍期間証明書
※3月31日までに発行されたもの
※卒業証書は不可
- ・あつまるカード(アプリ可)

受付期間

4月30日(水)まで

提出先 ※LINE申請可能

住民課子育て支援グループまたは上厚真支所

子育て世帯の賃貸住宅家賃一部助成

住民課 子育て支援グループ ☎ 26-7872
(総合ケアセンターゆくり内)

賃貸住宅に入居している子育て世帯に家賃の一部を補助します。公営住宅も対象です。

対 象

- 次のすべてに該当する世帯
- ①18歳までの子どもがいる世帯
- ②町内の賃貸住宅に入居している世帯(子育て支援住宅、月額家賃48,000円以下を除く)
- ③世帯の合算所得が5,844,000円以下の世帯
- ④町税等に滞納がない世帯

助成額

子ども1人当たり月額最大3,000円分
※あつまるポイントで還元
※上限は月額家賃から48,000円を差し引いた額

対象期間

令和6年10月～令和7年3月の6カ月分

受付期間

4月30日(水)まで

必要書類

- ・賃貸借契約書等の家賃の金額が確認できる書類
- ・家賃の納付が確認できる書類(支払領収書や引落口座通帳のコピーなど、6カ月分の支払いが確認できるもの)
- ・あつまるカード(アプリ可)

※令和6年1月1日に町外に居住していた方は、住所のあった自治体が発行する所得証明書および町税等の滞納がない証明書が必要です。

提出先 ※LINE申請可能

住民課子育て支援グループまたは上厚真支所

水田活用の直接支払交付金制度説明会

農業再生協議会事務局 ☎ 27-2419
(産業経済課 農業グループ内)

水田活用の直接支払交付金についての説明会を開催します。

水田活用の直接支払交付金は、令和4年度に制度の見直しが行われ、令和8年度までの5年の間に、水田に水を張ることがルール化されています。今年度の耕作を前に、改めて制度の説明会を開催します。
なお、説明会への参加が難しい場合は、資料を送付しますのでお申し出ください。

対 象

水田耕作者およびその地権者

開催日

2月26日(水)

時 間

①昼の部13時30分～ ②夜の部18時～
※説明内容は①②とも同じです。

会 場

厚真町総合福祉センター大集会室

住民課 税務グループ ☎ 26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)

確定申告は役場でも受け付けます

役場で令和6年分の所得税の確定申告の相談および申告書を受け付けます。

所得税の確定申告は、住民課税務グループでも受け付けます。
なお、申告の内容次第で税務署にご案内する場合がありますので、ご了承ください。

※事業所得がある方は、収支内訳書または青色申告決算書をご自身で作成ください。

※医療費控除を申請される方で、保険者が発行する医療費の額などを通知する書類がない場合は、「医療を受けた方」「病院薬局等」ごとに支払った医療費の額を集計のうえお越しください。

受付期間

2月17日(月)～3月17日(月)
8時30分～17時30分
※土曜・日曜・祝日を除く

受付会場

総合ケアセンターゆくり
2階特設会場(ロビー)

確定申告会場の開設

苫小牧税務署 ☎ 0144-32-3165

次のとおり確定申告会場を開設します。

会場への入場には入場整理券が必要です。

- ・入場整理券は、国税庁LINE公式アカウントで事前発行もしくは会場で当日配布します。
- ・入場整理券の配布状況に応じて後日の来場をお願いすることもあります。

マイナンバーカードを利用したスマホ申告をご案内しています。

- ・マイナンバーカードを利用したスマホ申告を行うためには、マイナンバーカードのほか、利用者証明用電子証明書(数字4桁)と署名用電子証明書(英数字6文字以上16文字以下)が必要です。
- ・電子証明書は、転居・氏名の変更により失効します。失効・有効期限を過ぎている場合は、住民課町民生活グループにご相談ください。

開設期間

2月17日(月)～3月17日(月) 平日9時～16時

確定申告会場

苫小牧市労働福祉センター2階ホール
(苫小牧市末広町1丁目15-7)

その他

- ※電話によるお問い合わせは受けていません。
- ※自宅で作成済みの確定申告書は、確定申告会場では提出できません。税務署への郵送による提出にご協力ください。
- ※上記開設期間中は、税務署庁舎内に確定申告会場を設置していません。
- ※駐車場が狭く混雑しますので、公共交通機関を利用して来場してください。

住民課 福祉グループ ☎ 26-7872
住民課 税務グループ ☎ 26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)

所得税・町道民税の障害者控除

要介護等認定を受けている方も、申請により障害者控除対象として認定が受けられる場合があります。

障害者控除とは

所得税や町道民税の納税者本人や扶養親族等(年少扶養含む)が障がい者であるときは、申告により障害者控除等を受けることができます。

対象(令和6年12月31日時点の状況)

①特別障害者控除…身体障害者手帳1級・2級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級をお持ちの方

控除額	所 得 税	所得金額から40万円が控除
	町 道 民 税	所得金額から30万円が控除

②障害者控除…①以外の等級の障害者手帳をお持ちの方

控除額	所 得 税	所得金額から27万円が控除
	町 道 民 税	所得金額から26万円が控除

・「別に暮らしている子に扶養されている」などの場合には、申告により子が控除を受けることができます。

・障害者手帳をお持ちでない方でも、要支援・要介護認定を受けている方のうち、寝たきりや認知症の状況によっては、申請することで障害者控除の対象として認定が受けられる場合があります。

詳しくは住民課税務グループ・福祉グループまでお問い合わせください。



1 or 8 (恵庭市)

本引き大会

1st



フォレストアス(苫小牧市)

2nd



おパンツアップ塾苫小牧(苫小牧市)

3rd



天照(苫小牧市)

4th



第18回あつま国際雪上3本引き大会

町発祥のウィンタースポーツ「第18回あつま国際雪上3本引き大会(同実行委員会主催、池川徹委員長が1月26日、本郷地区のかしわ公園野球場で開かれ、出場55チームの選手たちが熱戦を繰り広げました。今年暖冬で雪が少なく、主催者は気をなでましたが、2日前に降った雪を大切に確保するなど競技コートを保ち、開催にこぎつけました。午前中の予選を勝ち上がった36チームが、優勝決定トーナメント戦に進出。時間の経過と共にコート上の雪はザクザクになり、足をすくわれて転倒したり引きずられる選手が続出し、応援にも力が入りました。競技の結果、「1 or 8」(恵庭市)が初出場、初優勝の快挙。準優勝は林業従事者の「フォレストアス」(苫小牧市)、3位が常勝チームの「おパンツアップ塾苫小牧」(苫小牧市)、4位が軟式野球チームの「天照」(苫小牧市)となりました。4チームには、主催者からそれぞれ賞金や副賞が贈呈されました。



財界6団体（町議会やJAとまこまい広域、町商工会、町土地改良区、農業委員会、苫小牧広域森林組合）恒例の新年交礼会が1月7日、総合福祉センター大集会室で開かれ、130人を超える関係者が参加しました。

世話団体の町商工会・寺坂文秀会長が「長引くエネルギー価格の高騰で企業の利益は圧迫され、消費の低迷など多くの課題があります。6団体は町内経済が滞らないないよう、行政や各団体と共に着実に課題解決に向けて取り組みます」とあいさつ。6団体の代表や宮坂町長、来賓が地元の発展を祈って鏡抜きを行い、今年1年の繁栄を願いました。

新年交礼会にぎわう



1年の繁栄を願い鏡抜きする関係者の皆さん

厚真高校1年の大垣尊良さんに北海道スポーツ奨励賞を伝達



北海道スポーツ奨励賞を受けた大垣尊良さん

一昨年の陸上競技大会男子砲丸投げで全国優勝を飾った厚真高校1年の大垣尊良さんに1月8日、北海道知事に代わって宮坂町長から「北海道スポーツ奨励賞」とメダルが伝達されました。

大垣さんは、中学3年生で出場した令和5年8月の第50回全日本中学校陸上競技選手権大会・男子砲丸投げで16m53で優勝、さらに同10月の第54回JOCジュニアオリンピックカップ・U16男子砲丸投げで16m93を記録して優勝しました。

宮坂町長は「厚真から日本、そして世界に羽ばたいていただきたいと願っています。皆さんの夢がかなうようにサポートします」とエールを送ると、大垣さんは「今まで以上に努力し、更に記録を残して世界レベルで戦える選手になりたい」と述べ、「今年は高校生の歴代記録(19m28)を更新したい」と力強く目標を掲げました。

塩分の取りすぎや食物繊維不足の解消などを目指す「あつまっ子健康レシピコンテスト」で、グランプリを受賞したおとな部門の國本裕子さん(上厚真)とこども部門の三上杏さん(幌里)に1月9日、総合ケアセンターゆくりで賞状と記念品が贈られました。

おとな部門7作品、こども部門24作品の応募があり、最終選考された各部門2作品が、厚真町文化祭ウィークでの来場者による試食・投票でグランプリに選ばれました。

國本さんの「とろ〜りジューシーなすピザ」は、なすを丸ごと使った満腹簡単レシピ。三上さんの「ココロ焼きおにぎり」は、野菜を混ぜてたこ焼風に可愛く仕上げました。

あつまっ子食と健康向上委員会を所管する健康推進グループの宮本参事から表彰された2人は「これからも、アイデア料理を考案します」と笑顔で語りました。

あつまっ子健康レシピコンテスト グランプリの2人を表彰



グランプリを受賞した國本さん(左)と三上さん(中央)

「厚真産ハスカップ」が 地域団体商標に登録されました



商標登録証を持参した山口部会長

町と一般社団法人日本補償コンサルタント復興支援協会は12月18日、「災害復旧・復興等事業の支援業務に関する協定」を締結しました。

協定は、地震や津波、豪雨、洪水、竜巻などが発生した際に、町が行う住家の被害認定調査や被災証明書の交付、損壊家屋等の解体・撤去処理、堆積土砂の排除などの事業を同協会が支援して早期の災害復旧・復興を目指すものです。

協定締結には、同協会の賢木新悦副会長や堀内秋治理事、井上稔企画・研修部長が出席。宮坂町長と賢木副会長が協定書に署名しました。賢木副会長は「知見と経験を生かして平時から情報を共有して、被災者の一日も早い復興を目指して努力します」と話し、宮坂町長は「被災者に寄り添う気持ちを大切にして、専門家の皆さんが活動できる環境を整えていきたい」と語りました。

日本補償コンサルタントと 復興支援協会・協定締結



協定締結を終えて、記念撮影する協会の皆さん

町交通安全・防犯町民集会開く

本年度の「厚真町交通安全・防犯町民集会」が12月20日、総合福祉センターで開かれ、関係者54人が出席しました。

苫小牧警察署生活安全課の出村憲史係長が「特殊詐欺の被害状況と防止」について、苫小牧警察署厚真駐在所の間野弘晶所長が「飲酒運転根絶と冬の交通安全防止」について、それぞれ講演し、防犯意識の向上と交通安全運動の推進などを呼びかけました。



冬の交通安全について説明する
厚真駐在所の間野所長

地域おこし協力隊

厚真町で活動している地域おこし協力隊をご紹介します！

現在活動している協力隊〈1月末現在〉

農業▷10人 教育魅力化▷3人
起業型▷9人 協働型▷8人

農業支援員

なかの ゆういち
中野 佑一さん

着任：令和4年4月(3年目)
出身：苫小牧市



―農家になろうとしたきっかけや農業で独立を考えた理由は？

農機具などを取り扱う企業で営業職をしていた時に農業を身近に感じて農業の面白さに気付きました。以前から、企業に所属して仕事をするのではなく個人で自由に仕事をしてみたいという思いを持っていました。自分が頑張った分、しっかり自分に返ってくることでやりがいにつながっていると思います。結果はすべて自分次第。そこが農業の醍醐味だと思います。

―3年を振り返り、特に印象に残っていることは？

ハウレンソウ、カボチャ、イチゴ、ブロッコリーなどの生産方法などを学びました。ハウレンソウの生産は「初心者向け」とはいえ、知れば知るほど奥が深く難しい作物です。記録的な猛暑の年には、ハウレンソウがなかなか成長してくれずに苦労しました。そのような環境の中でも、しっかりと生産している農家さんはいます。暑い

夏にも耐えられる品種の選定や水の量、温度、土の状態をしっかり管理できるかどうかで生育状況が変わることを学びました。農業において「たぶんいけるでしょ!」、「まあいいか!」は通用しないのだと身をもって知りました。

―就農する農地は見つかりましたか？

いろいろな人たちの協力をいただきながら農地を探ことができました。そこにはビニールハウスを5棟建てました。それ以上に地域の方々と人間関係の構築がとても大切です。可愛がってもらえるように、認めてもらえるようになるため、まじめに頑張ることが大切だと思います。自分は気付いてなくても周りの人はよく見ている、見られている感覚は常に持っています。

―どんな農家になりたいですか？目標は？

ハウレンソウ農家として、町内で一目置かれるような存在になりたいです。でも、まずはハウレンソウの生産者として自分が生活できるように頑張ります。安定的な生産量をしっかりと確保すること、そして品質の良いハウレンソウを生産できるように励みたいと思います。

厚真町とみなさんの関係をつなぐウェブサイト「あつまのおと」では、地域おこし協力隊の情報をはじめ、町の「ヒト・コト・モノ」、「挑戦と出会い」の情報を発信しています。



上厚真小学校6年

発表します!~
将来の夢

ながい あまと
永井 天翔さん

やまだ あやか
山田 絢華さん



すずき ひなた
鈴木 陽大さん



ふじい ゆうり
藤井 悠李さん



さかき ゆうひ
榊 悠陽さん

AZUKO Information



厚高インフォ

Vol.302

学校の取り組みは
ホームページでも！



■探究チャレンジ胆振・日高

(12月18日)

胆振・日高の道立高校が連携した「探究チャレンジ胆振・日高」のウェーブ発表会が開かれ、23校の代表者が発表しました。本校からは、校内探究成果発表会で選ばれた3年生の加藤さん、河原さんが「厚真町青少年センター図書室利用者満足度計画」について発表。2人は、他校の生徒との意見交流を通じて新たな課題を見つけるなど、意義深い経験を積みました。

■屋内体育大会と三送会 (12月20日)

体育館で、屋内体育大会を実施しました。学年別対抗戦で、午前中に男女バレーボールと卓球、午後は大縄跳びとドッチボールを行いました。引き続き、在校生から3年生に感謝を伝える三送会を開き、生徒を代表して2年生の平田さんが「在校生から送る言葉」を述べ、スライドショーで3年間の思い出を振り返りました。3年生の兼本さんが礼のあいさつで締めくくり、3年生は笑顔で退場しました。

■合格体験発表会 (12月24日)

3年生の合格体験発表会を体育館で開きました。進路決定までの経験を下級生に伝え、今後の進路決定に生かすのが目的です。今年は、3年生6人が、進学や就職内定までのプロセスを説明しました。志望先の決定や面接・各種試験に向けた準備、受験を通じて得た貴重な経験談を語りました。在校生は、自分のこととして真剣に聞き入りました。

■職場体験学習発表会(11月6〜8日) 厚真人インタビュー (12月24日)

2年生は職場体験学習の成果について、1年生は「厚真人インタビュー」について、それぞれ発表しました。職場体験では、町内外の各事業所で成功談や失敗談などを学び、将来設計の参考にしました。また、「厚真人インタビュー」では2グループが発表し、厚真町の職業や町民を深く知る素晴らしい機会になりました。

■北海道スポーツ奨励賞の伝達

(1月8日)

北海道スポーツ奨励賞を受賞した1年生の大垣尊良さんが、宮坂町長に報告し、賞状とメダルの伝達を受けました。大垣さんは「更に優秀な成績を残し、世界レベルで戦える選手になりたい」と意欲を語りました。

よりみち学舎で3年間を過ごした厚高生は、間もなく卒業を迎えます。1年生から通った8人に、どのような場所だったのか聞きました。

公営塾「よりみち学舎」って どんなところ？

よりみち通信



「よりみち学舎」は厚真高校と地域が連携しながら放課後を利用して生徒が自ら目標を発見し挑戦する公営塾です。

加藤迅さん：興味あることに対して、教えられるだけでなく与えるだけでなく、同じ目線で一緒にやってくれる場所。

藤田陸さん：コミュニケーションを取ることが苦手でしたが、人間関係の幅を広げることができた場所。やりたいことを増やすことができる場所。

蛸名さくらさん：バレーボールとギターとおしゃべりができる場所。運動も楽器もでき、楽しく過ごせる居場所。

兼本洸瑩さん：やりたことをやらせてもらえる。自分の将来を考えることができる場所。

鎌田倅人さん：他校では経験できないことができる。入学前に興味なかったことでも夢中になれるし、見聞が広められる場所。

平目功希さん：人との関りや経験を通じて成長できる場所。一緒にいる大人や仲間のお陰で頑張れる場所。

八島奈煌さん：自分の成長を実感できる場所。入学するまでは、特定の人としか話せなかった。後輩との交流も増え、大勢の人とコミュニケーションが取れるようになった。

河原悠月さん：好きなことを楽しみながら、自分が立てた目標をやりきることができる場所。

うれしい感想が、厚高生から聞かれました。今後も多様な価値を創出するため、多くの方に関わっていただきたいと願っています。

教育魅力化支援員 山中 卓也



3年間、よりみち学舎に通った厚高生



こどもの予防接種

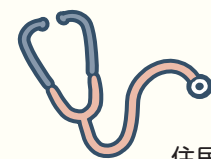
接 種 日	未 就 学 児	水 曜 日	14時～15時 (この時間は一般診療休み)	予防接種 専用サイト 
	小 学 生 ～19歳	月・金 曜 日	9時～12時、14時～17時	
		水 曜 日	9時～12時、15時～17時	
予 約 / 受 付 接 種 場 所	あつまクリニック ☎ 27-2422 京町15 前の週の金曜日までに予約が必要です (予約受付時間: 9時～12時、15時～17時)			
持 ち 物	母子健康手帳、予診票			

予約時は、予防接種専用サイトで接種対象であるかどうかを確認してください。専用サイトと母子健康手帳の接種履歴に相違がある場合などは、住民課健康推進グループ (保健師) までご連絡ください。

	対象者	標準的な接種期間と回数
ロタウイルス (1価)	生後6～24週未満	27日以上あけて2回 ※1回目は14週6日までに接種
B型肝炎	生後2カ月～1歳未満	(初回) 27日以上あけて2回 (追加) 1回目終了後から20週以上あけて1回
ヒブ (※1)	生後2～60カ月未満	(初回) 生後2～7カ月未満 (27日以上あけて3回) (追加) 初回後7～13カ月あけて1回
小児肺炎球菌	生後2～60カ月未満	(初回) 生後2～7カ月未満 (27日以上あけて3回) (追加) 生後12～15カ月未満 (初回後60日以上あけて1回)
四種混合 (※1) (ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ)	生後2～90カ月未満	(初回) 生後2～12カ月未満に20～56日あけて3回 (追加) 初回後12～18カ月あけて1回
五種混合 (※2) (ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ・ヒブ)	生後2～90カ月未満	(初回) 生後2～7カ月未満に、20～56日あけて3回 (追加) 初回6～18カ月あけて1回
二種混合 (ジフテリア・破傷風)	11～13歳未満	11歳で1回
BCG	生後5カ月～1歳未満	生後5～8カ月未満に1回
MR混合 (麻しん・風しん)	(1期) 生後12～24カ月まで (2期) 年長児相当(就学前の1年間)	1期、2期ともに1回
水痘 (水ぼうそう)	生後12～36カ月未満 ※すでに罹患済みの場合は対象外	(初回) 生後12～15カ月未満に1回 (追加) 初回後6～12カ月あけて1回
おたふくかぜ (任意)	1歳以上 ※すでに罹患済みの場合は対象外	1歳以上で1～2回 ※町独自の助成により1～3歳までの初回1回のみ無料
日本脳炎	(1期) 生後6カ月～7歳6カ月未満 (2期) 9～13歳未満 ※特例対象者は20歳未満まで接種可	(1期初回) 3歳: 6～28日あけて2回 (1期追加) 4歳: 1期初回終了後約1年あけて1回 (2期) 9歳: 1回
HPV (ヒトパピローマウイルス) (9価)	小学校6年生～高校1年生相当の女子	中学1年生 (6カ月あけて2回) ※1回目の接種が15歳を超えた場合は3回 (2カ月以上あけて2回接種した後、1回目から6カ月以上あけて1回)

(※1) 令和6年3月31日までに接種を開始している方は、同じワクチンで接種を終えてください。

(※2) 令和6年4月1日から新たに接種を開始する方は、五種混合ワクチンが適用されます。(ヒブおよび四種混合は対象外)



保健の掲示板 3月

住民課 健康推進グループ ☎26-7871 (総合ケアセンターゆくり内)



健診・検診・相談・教室など

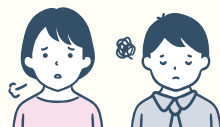
①ニューママ教室 ②プレママ教室		①1歳6カ月児・②3歳児健診
対 象	①産後2～6カ月のママとお子さん ②現在妊娠中の方 (妊娠12週未満の方、臨月の方は要相談)	対 象 ①令和5年7月23日～ 令和5年9月19日生まれ ②令和4年1月23日～ 令和4年3月19日生まれ
と き	3月7日(金) ※3月4日(火) までにお申し込みください。 ①9時30分～10時30分 ※お子さんの計測を希望の場合は9時～9時30分に来場 ②10時45分～11時45分	と き 3月19日(水) ※個別に案内
と ころ	厚南子育て支援センター	と ころ 総合ケアセンターゆくり
内 容	①ベビーマッサージ、助産師相談 ②マタニティヨガ、助産師相談	持 ち 物 母子健康手帳、歯の健康ノート、バスタオル、歯ブラシ、アンケート、早朝尿(②のみ)
持 ち 物	①母子健康手帳、バスタオル、ベビーオイルやベビークリーム ②母子健康手帳、ヨガマット (バスタオル可)、動きやすい服装	

こころの相談

心身ともに、こんな変化はありませんか？

- ・眠れない
- ・人の視線が気になる
- ・人に会いたくない
- ・以前よりイライラする
- ・何事にも集中できない
- ・日常生活に支障が出るほどお酒を飲む など

ストレスなどからくるこころの危険信号かもしれません。臨床心理士が、本人やご家族のこころの健康や子育ての悩みを抱える親御さんの相談に応じます。一人で抱え込まずに、ぜひご相談ください。



と き 2月21日(金)、3月21日(金)
10時～15時 (1人あたり50分程度)

と ころ 総合ケアセンターゆくり

申し込み 1週間前までに健康推進グループに
お申し込みください。

保健所の相談

問い合わせ 苫小牧保健所 ☎0144-34-4168

相 談 ・ 検 査 の 名 称	日 程
女性の健康相談	3月19日(水)
妊娠、出産、子育てなど女性の心身の相談	
肝炎ウィルス検査・梅毒検査	3月11日(火)
感染が疑われる方は無料 (要事前確認)	
骨髄バンク登録	要事前予約 (随時受付)
登録の基準があります	
HTLV-1抗体検査	なし
10日前までに予約してください	
HIV検査(エイズ相談)	3月11日(火)
無料、匿名検査(要事前確認)	
エイズ専用電話☎0144-35-7474	

3月の夜間・日曜・祝日の医療機関

内科・小児科系		外科系		診療時間：9時～17時	
苫小牧市夜間休日急病センター		日 程	病 院 名	住 所 (苫小牧市)	電話(0144)
住 所 苫小牧市旭町2-9-2		2日(日)	苫小牧東部脳神経外科	北宋町2-27-27	53-5000
電 話 0144-32-0099		9日(日)	同樹会苫小牧病院	新中野町3-9-10	36-1221
平 日 19時～翌朝7時		16日(日)	苫小牧日翔病院	矢代町2-9-13	72-7000
診療時間 土 曜 日 14時～翌朝7時		20日(木祝)	光洋いきいきクリニック	光洋町1-16-16	71-2700
日曜祝日 9時～翌朝7時		23日(日)	アーク整形外科クリニック	ときわ町3-15-34	68-6111
		30日(日)	ケーアンドエークリニック	日新町2-6-1	71-2000

※変更になる場合があります。病院や新聞などで事前に確認してください。



北海道救急医療・広域災害情報システム

近くの医療機関などが検索できます

<http://www.qq.pref.hokkaido.jp> ☎0120-20-8699 ☎011-221-8699(携帯・PHSから)

子育て支援センター 3月のよてい

申し込み・問い合わせ・予約・相談

厚真子育て支援センター ☎27-2438 京町152(こども園つみきに併設)
厚南子育て支援センター ☎28-3155 上厚真258-7(宮の森こども園に併設)
※講座などの申し込みは会場となる子育て支援センターまで

子育て講座 応急手当

内 容：けがなどもしもの時の対処法を学びます
日 時：3月4日(火)10時～11時
場 所：厚真子育て支援センター
定 員：7組
申し込み：2月25日(火)まで

子育て講座 リズムシェイプ

内 容：ストレッチしながら楽しくリフレッシュしませんか？
日 時：3月10日(月)10時～11時
場 所：厚南子育て支援センター
定 員：7組
申し込み：3月3日(月)まで

あそびの広場 具材あそびを親子で一緒に♪

内 容：ピザ、パフェ、ラーメンなど、お料理の具材が盛りだくさんです。「作って楽しいうれしい」をお子さんと一緒に体験します♪
日 時：3月25日(火)10時～11時
場 所：厚南子育て支援センター
申し込み：3月18日(火)まで

Hello えいご・えいごであそぼう 10時～10時30分

ALTの先生と遊びを通じて英語に触れることができます。開催日は情報誌をご覧ください。各センターにお問い合わせください。

・自由開放 ・子育て相談(※要事前連絡)…月曜～金曜日 9時～12時、13時～15時
・サークル活動(※予約制)…月曜～金曜日 13時～15時

栄養教室を開催します



血圧の話を中心に
保健師・栄養士が講話します。
希望者には血管年齢の測定を
実施する予定です。

日 時：3月6日(木) 10時30分～12時
場 所：総合ケアセンターゆくり 1階健康増進室
対 象：40～74歳の方(対象年齢外の方は要相談)
定 員：先着20人
持ち物：筆記用具
※特定・基本健診結果通知表、血圧手帳をお持ちの方は持参してください。

参加費：無料
申し込み：2月26日(水)まで

※お弁当を用意します。

問い合わせ・申し込み 住民課 健康推進グループ ☎26-7871 (総合ケアセンターゆくり内)

・まちのアイドル

3歳のお子さんの写真を募集しています。住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、両親の氏名(ふりがな)、電話番号を明記の上、まちづくり推進課企画調整グループへ。

〈メール〉kikaku@town.atsuma.lg.jp



なかた たいちさん



あらき すずさん

健康情報

住民課 健康推進グループ ☎26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)



担当

管理栄養士

ふなと ゆうか
船戸 佑香

今月のテーマ

腸を整えて寒い冬を乗り越えよう

冬は寒さや乾燥による血行不良や水分不足、運動量の減少から腸の動きが低下しやすい季節です。腸の動きが悪くなると便秘だけでなく「心身の健康」に悪影響をおよぼします。食事や生活習慣で腸を整える「腸活」を取り入れることが大切です。

腸の役割

●消化・吸収・排せつ

腸は「小腸」「大腸」の2種類に分かれています。小腸は胃で細かくされた食物をさらに分解し、栄養素として体内に吸収し、体のエネルギーの元を作り出しています。大腸は小腸で吸収しきれなかった栄養素や水分を吸収し、食べ物のカスから排せつ物を作り出して体外に排せつします。

●免疫力

消化管は口から肛門まで1本の管でつながった構造をしています。腸は、食べ物と一緒にやってくる細菌やウイルスなどさまざまな

病原体と常に接しているため、悪影響をもたらす外敵を排除する「免疫」という仕組みが備わっています。体全体の免疫細胞の7割が存在し、「体の番人」として重要な役割を担っています。

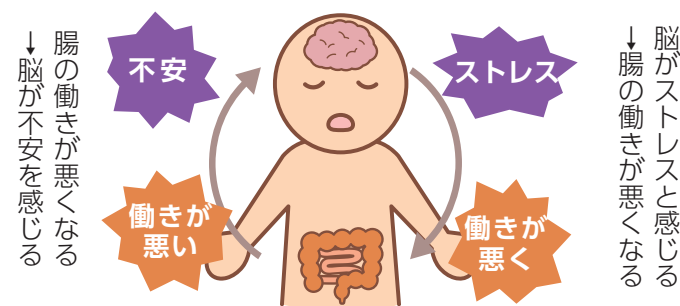
腸は第2の脳

ストレスを感じると脳は腸に信号を送り、腹痛や便秘、下痢を引き起こすことがあります。逆に腸内環境の乱れや腸の動きが悪いと、それが脳に影響して不安やうつ状態などのメンタルの問題を引き起こすこともあります。図1のように、腸と脳が互いに影響し合う関係を「腸脳相関」といい、腸は「第2の脳」と呼ばれています。

腸活のポイント

●生活習慣
①早寝早起きで生活リズムを作り、十分な睡眠を確保する。
②適度な運動を行う。

図1 腸脳相関



③水分は、起床時、食事の前後、休憩時、運動時、入浴前後、就寝前とこまめに補給する。



●食事

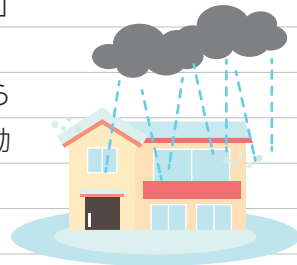
①1日3食しっかり食べる。
②ヨーグルト、納豆、みそ、キムチなどの発酵食品と、野菜、海藻、豆類、果物などの食物繊維を組み合わせる。
組み合わせの例：ヨーグルト＋キウイ、納豆＋めかぶなど
組み合わせを工夫することで、腸に良い菌を取って増殖し、働いてもらうという相乗効果が生まれます。
③さまざまな食材をとることを心がける。



なだれや融雪害に注意

まだ積雪が残る中、気温が上昇すると、雪解けや降雨により発生する低い土地の浸水や河川の増水、

お住まいの自治体から
の情報と併せて防災行動
にご活用ください。



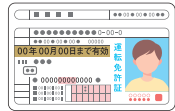
問い合わせ 室蘭地方気象台 ☎0143-22-4249

問い合わせ 胆振東部消防組合消防署厚真支署 ☎26-7119



運転免許証更新時講習

3月



苫小牧市交通安全センターで行っている運転免許証更新時講習(優良)の日程をお知らせします。この他の講習日程(一般、違反、初回)については、下記までお問い合わせください。

【10時30分～11時】

4日(火)、7日(金)、12日(水)、13日(木)
14日(金)、18日(火)、19日(水)、21日(金)
24日(月)、26日(水)、28日(金)、31日(月)

【13時30分～14時】

5日(水)、11日(火)、27日(木)

(一社)苫小牧地区交通安全協会
☎0144-33-1458

まちの善意



町への寄付

苫小牧市 南北海道スズキ販売株式会社さん
(現金13万7,580円)

社会福祉協議会への寄付

町税・保険料
今月の納期



科目	固定資産税(第4期)
納期	2月28日(金)

問い合わせ
住民課 税務グループ☎26-7871

落氷雪事故にご注意ください

室蘭開発建設部苫小牧道路事務所
(☎0144-71-5165、内線231)

冬期間の落氷雪事故防止を呼び掛けています。

沿道家屋は、雪止めを設置してください。既に設置されている場合でも、サビや老朽化による破損が原因で落氷雪が発生することもあります。必ず点検をし、破損等が発見された場合は早急に修繕してください。

ビルの壁や窓枠、突出した看板等からの落氷雪は少量でも危険なため、付着した氷雪は早めに除去してください。

法務局の
登記手続案内は
予約制です

不動産(土地・建物)の登記申請をする前に、手続案内を希望する方は、電話または窓口で予約をお願いします。

また、厚真町に本店または主たる事務所等がある法人の登記申請・手続案内や、相続土地国庫帰属制度の承認申請・相談は、札幌法務局(本局)で取り扱っています。

問い合わせ

札幌法務局苫小牧支局(☎0143-34-7403)
札幌法務局(☎011-709-2311、内線2188、2185)
※詳細はインターネットで「法務局 登記手続案内」で検索してください。

こぶしの湯 あつま
イベントカレンダー 3月

問い合わせ
こぶしの湯あつま
☎26-7126

日	月	火	水	木	金	土
						1
2 [3倍] ちびっこ	3 シルバー	4 メンズ	5 高齢者券	6 [3倍] レディース	7	8
9 ちびっこ	10 シルバー	11 メンズ	12 [3倍] 高齢者券	13 レディース	14 [2倍]	15
16 [3倍] ちびっこ	17 シルバー	18 メンズ	19 高齢者券	20 レディース	21	22 [3倍]
23 ちびっこ	24 シルバー	25 [2倍] メンズ	26 風呂の日	27 レディース	28 町民の日	29
30 ちびっこ	31 シルバー					

毎週日曜 ちびっこデー▷小学生はスタンプ2個

毎週月曜 シルバーデー▷65歳以上はポイント3倍

毎週火曜 メンズデー▷男性はスタンプ2個

毎週水曜 高齢者無料入浴券の日▷町交付の無料券利用でレストランのヘルシーセットが770円→570円

毎週木曜 レディースデー▷女性はスタンプ2個

最終金曜 町民の日▷誕生月の町民はレストラン利用で入浴無料

毎月26日 風呂の日▷町民は入浴無料

町内在住が確認できる身分証明書等の提示が必要
※対象外の方はポイント3倍、スタンプ2個

[2と6のつく日]▷ポイント3倍

[5のつく日]▷町交付の無料券利用でポイント5倍

※イベントは予告なく変更することがあります。

落氷雪があった場合は、直ちに負傷者がいないかを確認し、歩行者等の通行に支障がないように速やかに除去してください。

除雪は必ず複数人で行い、歩行者や子ども等に十分注意してください。

交通事故および交通障害防止のため、屋根からの落氷雪や敷地内の積雪を道路に出さないでください。

軒下や道路では、絶対に子どもを遊ばせないでください。



防災のページ

タイムライン防災について

問い合わせ 総務課 情報防災グループ ☎27-2481

タイムラインとは

タイムライン防災(防災行動計画)とは、防災対応について「いつ」「誰が」「何を」するのかを取りまとめた行動計画です。タイムラインの種類は「自治体タイムライン」、「コミュニティ

タイムライン」、「マイ・タイムライン」などがあり、それぞれが連携して、地域で一体となった防災対応を目指すものです。



災害時に円滑な判断・防災対応ができるよう、関係機関が連携して、具体的な防災行動を計画する。

住民の安全を確保するため、地域の防災上の現状や課題を踏まえ、避難ルールや避難支援を計画する。

災害時に住民一人ひとりが安全を確保できるよう、家族、親戚の避難をどう進めるか計画する。

厚真町のタイムライン防災への取り組み

町では、平成30年北海道胆振東部地震により、川の堤防に亀裂、山腹の崩壊、大規模な土砂流出による川のせき止めなどがあり、台風シーズンでもあったことから「厚真地区緊急対応タイムライン」を策定し、令和5年度に「厚真町

水害対応タイムライン」に見直しました。

さらに令和6年度からは、各自治会を対象にしたコミュニティタイムライン策定の支援を進め、南町自治会と豊川自治会を支援しました。

豊川自治会の
コミュニティタイムライン策定の紹介

昨年11月22日、12月8日、12月22日の3回にわたり、豊川自治会で、コミュニティタイムライン策定のためのワークショップを開きました。第1回ワークショップでは、防災情報を学び水害時の避難所への避難について話し合いました。第2回ワークショップでは、地域の避難ルールと水害時の防災行動について検討したうえで、コミュニティタイムラインの案を作成しました。そして、第3回ワークショップでは要配慮者(ひとりでは避難が難しい方など)の避難について意見交換し、地域の防災力を高めました。



ハザードマップで自宅が浸水する深さを確認



水害時の防災行動について話し合う



オーストラリアに留学し公立高校を卒業
まるやま はるた
Vol.58 丸山 晴風さん

「サーフィンで世界を極めたい」という夢実現のため、厚真中学校卒業と同時に、単身、オーストラリアの公立高校に留学した丸山晴風さんは、文武両道を貫いて昨年11月15日に無事卒業しました。知力・体力・精神力を磨き、高みを指して階段を上り続けています。一時帰国した丸山さんに総合福祉センターで話を聞きました。

サーフィンで世界を極め、厚真を盛り上げたい

「留学時に比べ、身長は10cm伸びて175cm。まだ、成長していますよ」。日焼けした顔から白い歯をこぼしました。渡航先は、「サーフィンの聖地」と言われるオーストラリア東部クイーンズランド州にあるパーム・ビーチ・カランビン高校。通常の科目に加え、サーフィンに特化した授業が受けられます。世界チャンピオンを輩出したサーフィンの名門校です。留学当初、英検2級を持っている丸山さんは「英語が得意だったので、会話には困らないだろう」と胸を躍らせて海を渡りました。ところが、すぐに試練は訪れます。ヒアリングです。「言葉が早くてなまりがあり、複数の単語も1つの単語に聞こえるのです。ゴニョゴニョって感じ。4カ月位は、聞き取れなくて何を言っているのか分からなかった」。コロナ禍で日本人留学生は、丸山さんただ1人。時々、両親や友人とやり取りする日本語のメッセージが、唯一のストレス解消でした。「日本語がまったく使えず、つらかった」

と丸山さんは振り返りました。砂浜のホームビーチまでは徒歩約10分。夏の浜厚真の景色を重ねて練習に打ち込みました。

最も仲良しだったのは、クラスメートで途中退学した地元のデーモン・ヘンリーさん。昨年、ISAワールドジュニア・サーフィン・チャンピオンシップ18歳以下で金メダルに輝いた逸材です。別の日、「お互い国の代表として将来、世界で戦おう」と誓いました。

4月から再びオーストラリアに戻ります。専門学校に進み、ビジネスを学びながらサーフィンに磨きをかけます。「上半身に力が入る癖を修正し、ダイナミックなフォームを目指します」。国際大会にも挑み、厚真町から留学する後輩の面倒を見る予定です。

自分を熟知できるようになったのが、留学生生活で得た最大の収穫と明言した丸山さん。

「経験を重ね、友人との約束も含めて世界で活躍し、故郷・厚真を盛り上げたい」

厚真で暮らす人、働く人、応援してくれる人、訪れる人・・・
みんな、みんな、ATSUMA LOVERS